



「2割企業」 創出プロジェクト

いかにして2割の「良い会社」の仲間になるか

バブル崩壊後の20年間で起きた新しい現実



全国6,600社の企業をつぶさにみてきた坂本光司法政大学大学院教授は語ります。

「良い会社」「普通の会社」「悪い会社」の割合は、2:6:2であったが、
今は、この割合は、2:2:6に変化しており、それこそが新しい現実である。

注目すべきは、「**良い会社**」の割合が**不変である**ということ。

良い会社の半数は売上高利益率が5%を下がったことがないという事実です。

2割の「良い会社」(以下「2割企業」と呼ぶ)は、5つの言い訳を乗り越える経営を実現して、持続可能な経営体になっているということです。

経営問題の大半は、外ではなく内にある。ゆえに景気連動型企业・構造的な不況型企業の5つの言い訳は、全くの誤解・錯覚・甘えである。(坂本教授 談)

<5つの言い訳>

- (1) 景気や政策が悪い
- (2) 業種・業態が悪い
- (3) 規模が小さい
- (4) 立地が悪い
- (5) 大企業、大型店が悪い

では、どうすれば「2割企業」の仲間入りが出来るのでしょうか。

幸いにも、これまでの調査研究で「2割企業」には、それぞれの企業ごとのカラーはあるものの**本質的に共通する法則的特長がある**ことがわかっています。

であるならば、すべきことは明瞭です。

「2割企業」に共通する5大特長

1. 人本主義の実践により社員一人ひとりの人間力が開発向上
2. 経営理念が浸透・深化し組織の絆が強く結束
3. 対話型経営で相互信頼の企業風土が醸成
4. 現場主義の徹底で高い顧客満足度の達成
5. 脱価格競争に成功し高収益性を実現



切り口によって分類の仕方はいくつかありますが、最も重要な共通項は上記の5つです。

経営革新には、プアなイノベーションより優れたイミテーションの方がはるかに実効的で、昔からよく「学ぶは真似ぶ」といわれています。

「2割企業」の経営手法を知り、自社流に取り入れ実践していくこと

これが手っ取り早く「2割企業」の仲間入りが出来る唯一の道だといえます。なぜなら多くの「2割企業」も先行する優良企業の経営を模倣して現在の経営に昇華してきているからです。

その道案内をして、参加企業に「2割企業」への経営革新を実践、そして成功していただくためのサポートを目的として開催されるのが「**2割企業**」創出プロジェクト — 人を大切にする経営実践ワークショップ in 四国 なのです。

なぜ、四国なのか

心の時代の到来を感じ、「人を大切にする経営」を実務面から研究し始めてまもなく5年目となります。そのプロセスの途上で恩師、坂本光司法政大学大学院教授と出会い、そのご縁、さらに経済産業局の計らいもあり、四国ではこれまで全県で講演活動をさせていただくことが出来ました。

四国でお会いする経営者や社員の皆さんは熱心な方が多く、いつも自分の励みとなりました。そして、いつしか四国へ恩返しをさせていただくことが出来ないだろうかと考えるようになりました。

日本の経済成長を支え、大きな雇用を生んできた輸出依存型製造業で赤字決算が相次ぎ、全国で工場の閉鎖や縮小計画も明らかになり、企業城下町などでは動揺が広がっているということがニュースで報じられています。

いよいよ輸出依存型製造業が「悪い会社」に転落しているという現実がここへきて赤裸々になってきたようです。構造的に限界がきている仕組みに雇用を依存している限り、特に地方はこれからも安定は望めません。

ここ数年で大きく社会の基軸が変わる可能性が高くなってきているのです。

独自性とそれを支える人間力で、景気の変動に影響されない健全経営体質を本気で実現すべき時が訪れてきているものと認識しています。

今こそ、これまで培ってきた「人を大切にする経営」を実現するための理論や方法論、そして具体的なノウハウなど、持てるすべてのものを四国の皆さまに還元し、地域に強くて優しい「2割企業」を増やすことに貢献させていただきたいと考え、本企画を生み出しました。

まだ東京でも実施したことがない企画です。「いちばん最初に実施するなら四国で開催したい」との思いで今回気持ちを高めています。内容をご確認いただき、これは役立ちそうだと感じられましたらぜひ当プロジェクトへご参画ください。



本企画はギフトエコノミーの社会実験も行います



また、本企画では**参加料という形を取りません。**

定められた対価を支払うのではなく、参加していただく企業の皆さんに提供していただく善意で成り立つプログラムとなっています。今回の「2割企業」創出プロジェクトでは、不完全であることは重々承知のうえで、恩送り社会を成り立たせるギフトエコノミー実現のための布石としての社会実験の場になることも価値があると考え、協賛制度という形で運営していくことを目指しています。

企画内容をご覧いただき、「これは共感できる」という企業の経営者や社員の皆さんと創り上げていくというプロジェクトにしたいと考えております。

小林秀司 プロフィール



四国での活動実績

経 歴	株式会社シェアードバリュー・コーポレーション代表取締役。 1960年生まれ。 法政大学大学院政策創造研究科卒業(政策学修士)。 理念経営伝道士(理念経営を説く社会保険労務士)。 株式会社日本マンパワー退職後、1997年に独立し現職。
専 門	持続可能な労働トラブルのない健全な職場づくりのための提案と実務指導 企業における障がい者雇用成功のための実務指導 企業の経営革新による地域活性化のための助言指導 人を活かす表彰制度の企画立案
公 職 等	内閣府委嘱・地域活性化伝道師 法政大学大学院中小企業経営革新研究所特任研究員 同政策創造研究科坂本光司研究室「障がい者雇用研究会」代表世話人 経済産業大臣賞・中小企業庁長官賞「日本でいちばん大切にしたい会社大賞」 (2011年)創設に深く関わる
著 書 ・ 講演等	書籍『元気な社員がいる会社のつくり方』(アチーブメント出版2010年6月)等 論文「企業における障がい者雇用によってもたらされる効用についての研究」 (2011年1月) 地域活性化ソーシャルビジネスセミナー、経営戦略としての障がい者雇用、理念 経営による人づくり実践などをテーマに各自治体や中小企業家同友会、日本青年 会議所、経営者団体、企業等での講演・セミナー・研修の実績多数

◆講演会(2011年)

3/31 高知	元気な社員がいる会社のつくり方 四国経済産業局
7/22 松山	低成長の20年がつくりだした新しい現実 愛媛銀行
8/5 松山	日本でいちばん大切にしたい会社大賞に近づく法 愛媛県同友会
8/25 高知	元気な社員がいる会社のつくり方 四国経済産業局
8/26 高松	元気な社員がいる会社のつくり方 香川県同友会
12/16 徳島	障がい者雇用が切り拓く新たなフロンティア 徳島県同友会

◆企業視察(2009年～)

28回(高知県11 / 愛媛県8 / 香川県5 / 徳島県4)

「2割企業」創出プロジェクト

開催スケジュールと内容

※会場は愛媛県松山市内を予定しています

5月11日(金)	<p>第1回 理念経営の実践 ～ キックオフ・決意を固める・同志に出会う</p> <p>第1回は、前半は持続可能な経営のために必要不可欠な成功の鍵を基調講演でお伝えして意識を高め、理念経営実践の支援、また企画に集った同志の相互理解促進をはかります。</p> <p>10:00～12:00 基調講演『これから持続可能な経営革新の方向性』&プロジェクト説明会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・180回を超える「良い会社」視察で得たこと ～ この20年で現出した新しい現実 ・10年ぶりに再会した税理士さんとの対話でみえてきた事実 ・「2割企業」の法則的特長は人を大切にする経営 ・キーワードは「人本主義」「理念経営」により共感を呼ぶ対話型経営の実現 ・5つの言い訳を乗り越えた「2割企業」事例研究 ・持続可能な「独自性」創造の鍵は“人づくり”。「人間力」教育の重要性 ・人本主義の理念経営成功のための7つの鍵 ・本プロジェクトの詳しい内容のご説明と質疑応答 など <p>13:00～15:00 実務レクチャー『理念経営の実践』</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.経営理念の再確認と理念経営実践のためにすべきこと 2.理念に共感する価値観の合う人材の採用を実現させるノウハウ 3.エンゲージメント(絆)強化のための原則と実践／優良企業が実践している好例の紹介と工夫 など <p>15:00～17:00 質疑応答・ディスカッション・参加企業紹介・意思表明 (終了後、懇親会を予定)</p>
6月19日(火)	<p>第2回 対話型経営の実践 ～ 相互信頼を培う理念研修はこうして行う</p> <p>第2回は、理念経営を志した社長と社員の満足度が95%にも達する、対話型経営の実現に今絶大な効果を挙げている「理念研修」についての解説と実際の理念研修を完全体験します。</p> <p>10:00～10:30 前回テーマに関する各社実践報告</p> <p>10:30～12:00 実務レクチャー『理念研修の目的、何を達成するか』</p> <p>弊社が理念研修で実践してきたこと／理念研修カリキュラムプラン／役に立つ教材／ファシリテーションの仕方 など</p> <p>13:00～16:00 理念研修完全体験・心をひとつにする</p> <p>経営者の思いが対話により社内に浸透し、社員の人間力が高められ、よい組織文化が育っているいくつかの企業の事例に触れ、自社で出来ていること、改善すべきこと、工夫すべきこと等の気づきを喚起し、具体的な行動計画を考えていただけるようなファシリテーションをしていきます。</p> <p>【学びテーマ】他喜力・なぜモチベーションが沸き起こるのか・競争から共創へ</p> <p>16:00～17:00 質疑応答・気づきのシェア・すべきことの明確化</p>
7月24日(火)	<p>第3回 本物に触れる ～ 地元の「2割企業」視察</p> <p>第3回は、地元で「2割企業」として躍進を続ける会社の現地視察を敢行し、皮膚感覚で本物の「人本主義・理念経営」を体感します。熱く動機づけられること確実です。</p> <p>13:30～17:30 企業視察会 西精工株式会社 ～ 理念経営2.0を体感する</p> <p>西精工は徳島県の会社。第1回「四国でいちばん大切にしたい会社」大賞受賞。ファインパーツの製造・販売会社。社員数243名。会社に入った瞬間に空気感が違うという、いい会社特有の雰囲気があります。88年の歴史がある同社ですが、現社長の西泰宏さんは2006年に一念発起して経営理念の見直しを1年かけて断行し、経営革新に成功。理念の浸透と社員一人ひとりの人間力向上に対する経営者の本気度に並々ならぬものが感じられます。輸出依存型の製造業が元気をなくしていく昨今、中国などの海外に生産拠点を移す必要もなく持続可能な経営を実現。高い技術力と人間力で独自性を生み出し、100年企業への確かな前進をしている、地域で誇るべき中小製造企業です。そのさまは、さながら先端の「理念経営2.0」とも形容すべき見どころ満載の会社です。【学びテーマ】先端の理念経営・本気度・対話重視の人づくり・5S など</p>

基調講演は
参加無料
です

8月28日(火)	<p>第4回 現場主義の徹底・脱価格競争の成功を目指す</p> <p>第4回は、「2割企業」が2割でありえる所以となる、「現場主義」「脱価格競争」にスポットを当て、極めて参考になる事例の研究と自社への応用法について学びを深めます。</p> <p>10:00～10:30 前回テーマに関する各社実践報告</p> <p>10:30～12:00 実務レクチャー『現場主義・脱価格競争成功企業の徹底研究』 現場主義を徹底させるための前提条件／「2割企業」になるために最も重要な“価格競争から脱するための経営”実現のために／ケーススタディ など</p> <p>13:00～16:00 理念研修スタイル・唯一無二の存在になる 現場主義、脱価格競争に成功している独自性の高い企業の事例を、理念研修スタイルでDVDの視聴や文献の考察をしながら、自社でどう実現させていくか検討していきます。すべきこと等の気づきを喚起し、具体的な行動計画を考えていただくようなファシリテーションをしていきます。 【学びテーマ】脱価格競争への挑戦・現場主義を徹底させるための環境整備 など</p> <p>16:00～17:00 質疑応答・気づきのシェア・すべきことの明確化</p>
9月25日(火)	<p>第5回 「2割企業」になるための理念経営浸透定着ノウハウの研究</p> <p>第5回は、経営理念を浸透定着させ、モチベーションが高く生き活きた職場をつくり続けていくための実践面でのノウハウを開陳していきます。</p> <p>13:00～13:30 前回テーマに関する各社実践報告</p> <p>13:30～17:30 レクチャー&質疑応答</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.理念経営対応型人事制度の在り方 2.行動指針、基準と考課制度の連携／表彰制度の活用 など 3.社員満足度調査の実践法 4.社員の強みを知り、活かす 5.クレーム対応、CS向上のための仕組みづくり <p>その他、参加企業のご要望に応じたテーマについてアドバイス、提案 など</p>
10月30日(火)	<p>第6回 大切にしたい会社への挑戦 ～ 障がい者雇用で人本主義に芯を通す</p> <p>最終回は、企業経営において障がい者雇用がいかに重要であるかに気づき、自社で正しい障がい者雇用を実現するためのビジョンを描き、人を大切にする経営の感性を目指します。</p> <p>10:00～10:30 前回テーマに関する各社実践報告</p> <p>10:30～12:30 実務レクチャー 「心の時代～重要な経営戦略としての障がい者雇用」 「大切にしたい会社」の研究で日本全国を駆けまわっているうちに、障がい者雇用は企業をとてつもなく良くする経営的価値があると、その大いなる可能性に気づきました。ここまでの研究成果と、特に素晴らしい事例を紹介します。</p> <p>13:30～15:00 理念研修スタイル 真剣に企業価値と障がい者雇用を考える 正しい理解をして障がい者雇用を推し進めることで、企業体質が俄然変わってきます。心の時代に重要な社員の人間力が格段に向上してきます。そして、企業の業績にも多大な貢献をもたらすようになってきます。なぜそうなるのか、日本理化学工業の大山泰弘会長の著書からその真因を探ります。障がい者と働くことで得た人間力向上…人に役立つ人間になることの大切さ、自らが工夫すること、本気で相手のためを思う、縁の大切さ、共感される生き方など、数々の気づきを得ていただき、心に落とすファシリテーションを展開していきます。【学びテーマ】企業における障がい者雇用の価値認識・感謝・利他の精神・共創</p> <p>15:00～16:30 ゲストスピーカー講演 松山で障がい者雇用の価値を高める活動をしている経営者によるリレー講演 ★ゲストスピーカー:ユニバーサルクリエート 代表 佐伯康人氏／まるく 北野賢三氏</p> <p>16:30～17:30 参加企業 経過報告&決意表明 懇親会</p>



佐伯 康人 氏

株式会社佐伯電器 取締役
1967年、愛媛県生まれ。
メジャーデビューまでした元ロックスター。脳性まひの三つ子を授かったことで障がい者と向き合うように。自社で障がい児童デイサービス事業等を立ち上げると共に、農業法人やNPO法人も設立。農業での障がい者雇用の実現に邁進、障がい者の自立支援を手掛けている。



北野 賢三 氏

まるく株式会社 代表取締役
1970年、愛媛県生まれ。
大学卒業後、東証一部上場企業に就職。人事部に配属されて以来、人事採用・教育に携わる。自身の事故により、初めて障がい者就労の現実を目の当たりにし、愛媛県初の雇用型障がい者就労支援事業所を立ち上げる。現在、障がい者の就労支援だけでなく、テレワーク(在宅勤務)を中心に企業の障がい者雇用支援も行っている。

プロジェクト募集要領

今回のプロジェクトでは参加料をお支払いいただくという形を取りません。

企画内容をご覧いただき、「これは共感できる」という企業の経営者や社員の皆さんと創り上げていくというプロジェクトにしていたければと思います。

参加をご希望される場合、以下の協賛をお願い申し上げます。

＜協賛していただきたい内容＞

★研修会場の提供	参加者の想定は30名としています。島形式での配置が可能なスペースの会場、プロジェクター、スクリーンが完備され、マイク音響設備があればベストです。わが社の研修室を使用してよいという企業様がいらっしゃいましたら、ぜひお申し出ください。
★航空券の供与	毎回、東京⇄四国間の航空券が必要になります。ご提供いただける企業様がいらっしゃいましたらお申し出ください。
★懇親会の幹事・運営	初回と最終回は懇親会を開催したいと考えております。どなたか懇親会の企画、設営、幹事業務をお引き受けいただけると助かります。
★参加企業の紹介	本プロジェクトにご参加いただける企業様をご紹介します。
★昼食弁当の提供	昼食弁当が必要な際、弁当をご手配いただける方がいらしたらお願いいたします。
★視察時の移動交通手段の提供	第3回は視察会となります。現地企業までの移動交通手段をご提供いただける方がいらっしゃいましたらお申し出ください。
★協賛金の支出	協賛金を支出いただける企業様を募集します。当プロジェクトの内容、ならびに参加したい人数を考慮の上、協賛金額を設定してください。いただいた協賛金は、講師謝金、宿泊費、会場費、寄付その他必要な経費に使用させていただきます。
★その他	御社の強みが活かせて、本プロジェクトの運営に供するもの。 当プロジェクトの運営がよりスムーズに進行できるようご提案がございましたら、ぜひお申し出ください。歓迎いたします。

※協賛は、このうちどれか一つ以上をお願い申し上げます。複数の協賛は歓迎いたします。

なぜ価格(参加料)を設定しないのか—— 協賛制度の意義～ギフトエコノミー実現の社会実験

商品に対して定められた対価を支払うことが、これまでの経済社会では当然の姿とされてきました。それは効率的、合理的であり経済成長を支えてきたことは確かであります。

しかし、行き過ぎた価格価値絶対の貨幣経済中心による弊害は、近年あらゆるところで社会に綻びを見せ始めています。

貧富の格差による教育機会の損失、儲け主義優先による過剰生産と大量消費による環境への負荷、価格破壊という言葉に象徴されるように、価格だけで勝負していくと絶対に体力のある大企業に中小零細企業は潰される運命に巻き込まれます。

今、訪れている「心の時代」は、この貨幣経済絶対主義にも風穴を開けてくるに違いないと考えています。これまでの社会は商品に対して定められた対価を支払うマーケットエコノミーが主体でした。物質的な豊かさを追求する場面においてはそれで機能していました。



しかし、これからは物質面だけでなく精神的にも豊かな社会を実現していくことが持続可能性を高めていきます。このための鍵がギフトエコノミーという考え方です。

「自分が受けた善意を次の人へ贈る」という、対価の支払いは次の方へのギフト(贈り物)だという考えです。恩送りを実現するのがギフトエコノミーです。

「与える」ということが優先される価値基準となります。

今回の「2割企業」創出プロジェクトでは、不完全であることは重々承知のうえで、このギフトエコノミー実現のための布石としての社会実験の場になることも価値があると考え、協賛制度という形で運営をしていくことを企図しました。参加者には、この社会実験にも参画していただくという思いを共有していただければと存じます。

開催の条件

参加を希望された皆さまの協賛により、当プロジェクトが運営できる見込みとなりましたら、当企画を実行させていただきたいと思っております。

目安としては参加人数の十分な確保(最低10名)、希望協賛金の確保が最低催行条件と考えております。

会場定員は30名とします。協賛していただいた企業様のプロジェクト参加希望人数が定員に達した段階で募集を締め切らせていただきます。

事務局の約束

●障がい者雇用促進のための支援

協賛金の10%を、愛媛県松山で活動するNPO法人ユニバーサルクリエートが実施している「えんむすびプロジェクト」に寄付させていただきます。

●各企業から協賛状況のご報告

各企業から協賛していただいた内容ならび収支状況についてご報告をいたします。

●当プロジェクト活動報告

協賛していただいた企業様の情報について、法政大学坂本光司研究室ブログ、株式会社シェアードバリュー・コーポレーションサイト、小林秀司FB、ツイッター等で広く告知していきます(希望された企業のみ)。



ユニバーサルクリエートの活動

応募要領

本プロジェクトの企画趣旨に賛同していただき、参加をご希望の企業様は、エントリーシートに必要事項をご記入のうえ株式会社シェアードバリュー・コーポレーションへ協賛をお申し出ください。

<参加お申し出期日> 2012年4月30日(月)

応募多数の場合、もっとも参加者全員の利に供していると考えられる協賛をお申し出いただいた企業様から優先的に受諾をさせていただきます。

現地事務局

地元での窓口と運営サポートを株式会社エ・クルール様にお願いしています。



〒790-0012 愛媛県松山市湊町4-3-2 こがねビル2F
代表取締役 青井 悦美さん

お問い合わせ・ご質問・協賛お申し出受付

株式会社シェアードバリュー・コーポレーション 担当: 吉田・伊集院

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-17 TAIICHIビル3F

TEL: 03-5259-7722 / FAX: 03-5259-7721

MAIL: svc-post@sharedvalue.co.jp

URL: <http://www.keieijinji.com> (経営人事ドットコム)

開催地について

現時点(2012年3月)では、プロジェクトの開催地は愛媛県松山市内を予定しています。
協賛により研修会場をご提供いただけるお申し出があった場合、他県での実施となる可能性があります。

**本プロジェクトに参加いただける方は
下記エントリーシートよりお申込ください**



http://www.keieijinji.com/seminar/shikoku/shikoku_entry.htm